

令和6年度 第2回伊賀市こども未来応援会議 議事概要

日 時 2024（令和6）年12月26日（木） 午後2時～3時30分
場 所 本庁舎4階 庁議室
出席者 富田会長、窪田委員、三井委員、百代委員、林崎委員、福永(悦)委員、佐治委員、
岩野委員、丹羽委員、葛原委員、山本委員、加納委員
(欠席者 南委員、福永(あ)委員、辻井委員、オチャンテ村井委員)

開 会

◇出席者数の確認（12名／16名）と会議の成立について

◇会議の公開について

1. あいさつ

◇中岡健康福祉部理事あいさつ

◇資料の確認

2. 議 題

（1）伊賀市こども計画【中間案】について

・第1章、第2章、第3章について

◇資料1（第1章、第2章、第3章）説明（こども未来課長説明）
(質疑)

会長 ご意見、ご質問等あればお願いしたい。

※※委員 9ページが一番下の表について、前は人口の推移が出ていたが、今回の数値は0歳が2025年から2029年まで400人となっている。これはなぜか。議会で聞いたが、令和5年度の母子手帳の発行数も300にもいっていないので、400人というのは目標値なのか。今後の見通しも考えられないので、予想値も書いてもらったほうがよいのではないかな。

事務局 3ページに書いてあるとおり、「伊賀市総合計画」の下に「こども計画」が紐付いている。現在、「総合計画」と合わせて「人口ビジョン」を検討しており、そちらでは2025年、令和7年以降、出生数400人を維持するというようにしている。目標値だが、それが根拠となっている。

会長 その他、いかがか。

※※委員 資料を見て、サブタイトルをみて素敵だと思って見ていたが、公募の78歳の方の作と聞いて素敵だと思った。計画にも大人目線とこども目線が入っている。3ページの図では、「伊賀市総合計画」の右側に国の「こども大綱」などが書いてあるが、伊賀市にも「いがっこ憲章」がある。「いがっこフォトコンテスト」でも「いがっこ憲章」が反映されている。よく似た「はぐくみ憲章」を見ると、大人ができるアクションと、こども側のことが載っていた。「いがっこ憲章」の扱いはどうなっているのか。

事務局	サブタイトルを公募したが、これを選んだ理由は「みんなの夢を実現しよう、積極的に行政に進言しよう。若い人も行政にものを言っていこう」ということですごくよいことだと思ったものである。 「いがっこ憲章」についても検討したが、「いがっこ」の定義が15歳までとなっている。この計画は青年期まで入るので外したが、ライフステージでいうと、基本目標2までは「いがっこ」の対象となるので、中に文言として入れることは可能だと考えている。
会長 事務局	他にご意見はあるか。 補足させていただくが、庁内の会議、議会全員協議会でも報告し、意見をいただいている。 1つめは、基本理念についてイメージがしづらいとのことで、「ともに成長し、明るく、楽しく、笑顔そして自信に…」としたほうがよいのではないかという意見があった。 2つめは、基本方針の2つめの「こどもの参加機会」もこどもの権利ではないかという意見があった。国はあえて分けているが、伊賀市版としては変えるべきか、あえてこのままにしておくべきか。 3つめは、計画のタイトルは「伊賀市こども計画」としているが、「伊賀市こどもそだち計画」などとすべきではないかという意見があった。変えていくこともありうる。 4つめは、国のとおり基本理念4つめは「誰一人取り残さない」としているが、これを「誰一人取り残されない社会」とすべきではないかという意見があった。 以上のような意見があった。
会長	事務局からご意見をいただきたい点について説明があった。 ご意見があればお願いしたい。
会長	私から意見を言わせていただくと、1点目の「ともに成長し」というのはそれでよいのではないかと思います。どのように成長するかよりも、「ともに成長する」ということで、結果として「明るく、楽しく、笑顔」というほうがしっくりくる印象がある。 2点目はなくさないほうがよいと思う。なぜなら、こどもの人権、権利の尊重はこれまで言われてきたことで、基本中の基本を確認したことであり、それでも参加機会が確保されていないという実態があり、それを強調しようという思惑であるので、これは残したほうがよいのではないかと思います。 3点目の「伊賀市こどもそだち計画」にすることについてはどうだろうか。「こども計画」でよいのではないか。国全体として取り組んでいこうとするものなので、まずはベーシックに組み立てていったほうがよい気がする。 4点目も、「こども大綱」にあるものをあえて変えなくてもよいように思う。私の意見を先に述べたが、委員の皆さんはいかがか。
※※委員	ご説明いただき、1から3までなるほどと思って聞いていた。1点だけ、

当事者の方からすると「取り残さない」のほうかという声があった。個人的な関わりの中で感じたことながら、国の示すままでよいかと思いつつ、私は直してもらってよかったと思う。一個人の感想だけお伝えする。

会長 他にあるか。

※※委員 基本方針の2番のこどもの参加機会の確保のところに、居場所の確保を入れてはどうか。安心してこどもが居られる場所を、それが家庭か学校か、別の場所かはあるが、そういう部分で2番に入れてはどうかと思う。

会長 「こどもの参加機会・居場所の確保」としてはどうかというご意見である。他はどうか。

※※委員 私も「取り残されない」よりも「取り残さない」のほうかよいと思う。文章では「取り残さず」となっており、そのまま「取り残されない」にしてしまうと視点のずれが出てきてしまう。この方針は我々の宣言という部分があるので、そのような視点の書き方なのだと思う。変更せずこのままのほうかよいと思う。

会長 その他いかがか。よろしいか。

今のところ、1点目はこれでよいのではという意見に対し反論はなかった。ご提案を受けて変更するのでよいということである。

2点目は「こどもの参加機会・居場所の確保」としてはどうかということだが。

事務局 貴重なご意見であるが、基本方針は大きな方向性を示している。居場所の確保は取り組み内容になるように思う。大きな方向性でいうと「参加機会の確保」ぐらいがよいのではないかと思うが、いかがか。

※※委員 個別には入れていただいていたのでよいと思う。

会長 では、ここはそのままということである。

3点目も「こども計画」で反論はなかったので、このままとさせていただきます。

4点目は「取り残さない」のままでというご意見が出たので、そのようにさせていただきます。

それでは、第1章から第3章については終わらせていただく。

◇資料1（第4章、第5章、第6章）説明（こども未来課主幹説明）

・第4章について

（質疑）

会長 ご意見等あるか。

※※委員 私自身、幼稚園か保育園かを迷っている。新聞やケーブルテレビで桃青の丘の署名のことを見て、こども園化のことが気になっている。こども園化をするのかしないのかを記載しているのか。それと、さくら保育園の民営化が止まり、玉滝幼稚園の再募集が始まったが、保育園の計画はどのようになっているのか。どこに記載されているか、教えていただきたい。

もう1点、小学1年生で学童を希望している人はみんな入れているのか。施設待機児童も議会で出ていて、大事なことだと思っている。1年生は優先で入れても、2、3年生になると急に家で留守番というのは不安であり、どうなのかと思っている。小学校から早く帰ってくることも多いし、夏休み、冬休みもあるので、今後、どのように対応しようと考えているのか。0歳の預かり率が上がっているの、同じように学童の利用率も上がっているのではないかと思う。

それから、小学生4～6年生の利用率が低い、これは希望者が少ないのか、希望しても受け入れられていないのか。

※※委員

関連することだが、保育のところは40ページの取り組み内容に書かれていて、これはこれからの計画であり、今がどうなっているか分からないが、11月終わりに再募集というのを見て、今ごろどこに行くか分からない保育所が募集したり、あるいはそこへ遠くても行こうと思っている人がいたら、そのまま存続できるのか。こんな時期に再募集を大々的に行われていることに衝撃を受けた。こども達がどうなるのかと思った。40ページの下から2つ目のところにも、「小規模園については地域の環境を生かした特色のある保育を展開し」ということで、何か考えているのかもしれないし、市長も考えを持っているようにお見受けするので、期待をしている。

それに関わって、103ページの計画の進行管理は、これまでもPDCAサイクルは言われているが、現実にはこどもが少ないことは承知した上での質問だが、計画の進行管理ではこれまでもPDCAで適切に進行管理しているのか。小規模園の再募集といった個別のことはよいが、心配だったので、どうなっているかという質問である。

会長
事務局

この度の市長選の結果を受けて変更したことについてのお尋ねだと思う。資料1の40ページの下から2つめだが、稲森市長に代わり、民営化からこのように変わった。個別、具体的なことはここでは触れない。あくまで大きな方向性を書いている。実行計画は各課が作るという位置づけである。放課後児童クラブについては、1年生は全員入っている。4～6年生については希望者は実際少ないが、地域によって差がある。定員の半数以下のところもあれば、一部、定員をオーバーしているところもある。そこについては3、4年生は入れていない子もいる。去年から指定管理の業者について公募になった。かなり民間からの問い合わせがあり、この4月から新しく民間施設ができる。一部解消に進むのではないかと考えている。

進行管理については、これまでもやっていた。しかし、これまでの目標値は成果指標ではなく、単なる回数などあまり成果に紐付かないものであった。この計画では成果指標を満足度で置き換えている。毎年アンケートを取って、PDCAサイクルを回す基準となる。ただし、下の事業はそれぞれ目標値を持っているので、それを束ねたものが成果指標ということである。

事務局（理事）

保育所とこども園のことだが、民営化するかしないかについては、新市長

が就任した中では、議会でも一旦中止するという事を明言していたので、この計画についても方向性については変更した。今後どうするかという保育所のあり方については、早急に見直し案を議会に示していきたいと返答している。

こども園についてはどうするかははっきりしていない。これから関係者、保護者と話をしながら進めていきたいと考えている。この中ではする、しないではなく、当然、保護者のニーズなどエビデンスを揃えて、決めていくべきことと思う。可能性としては、調査にもあり、こども園ということは書いているが、桃青の丘がどうかということは今は明記していないということである。

会長 1、2点目については現状について話していただいた。PDCA についてはこれまでと違う評価の仕方をしていくということであった。

他にご意見はあるか。

※※委員 1点目は「取り組みを進めるうえでの視点」について、世代にも「大人の視点」、「こどもの視点」としてあるが、ここは「大人」、「こども」と簡潔にしてもらおうとよい。読み手側からすると、何度も「視点」という言葉が出てきて分かりにくい。

2点目はライフステージ別の取り組み一覧について分かりやすいと思ったが、第4章の頭に持ってきて、そこで確認してもらって、該当ページに飛ぶほうが読みやすいかと思う。

事務局 1点目の「視点」については修正を含め検討したい。

もう1点のライフステージ一覧については、意図としては、最初にインデックスとして事業一覧を置いておいたほうがよいという考えがある。ライフステージ一覧については基本目標1～3を対象としている。前と後ろとどちらからもインデックスとして参照できるようにしたものである。

会長 他はいかがか。

※※委員 文言の定義について教えていただきたい。41ページに「問題行動等の早期発見、早期対応を図る必要がある」とあるが、ここで言う「問題行動」とは、こどもの行動だけに目を向けてしまうと、その背景にある環境や状況が見えず、その後の対応も変わってくると思う。何ををもって「問題行動」と言うのかということと、この「等」というところに、行動にだけ目を向けるのではなく、違うところにも目を向けるということが入っていると思うのだが、その辺りを説明してもらえるとありがたい。

事務局 適切な言葉があればご助言いただきたい。

副会長 学校教育課のほうでこのようにしたのだと思うが、文部科学省の調査の中にこういう文言がある。そこから来ていると思うので、この計画に適切かどうかは学校教育課で検討してもらったらどうかと思う。

会長 他にご意見はあるか。

※※委員 アンケート結果で「わからない」が多かったという4-1から4-5のと

ころは、生きづらさを感じていると思われる方々について「わからない」というところに偏っているように感じた。目標にする上でそれを除いてというのはよいのだが、次回は「分からない」が減っているような取り組みになるようお願いしたい。

61 ページの「スポーツ活動振興事業」のところで、スポーツ少年団の意義も理解しているつもりだが、加入の促進について、絵に描いた餅ではない。スポーツ少年団単体では維持しづらいので、加入促進の必要性は感じている。競技スポーツを中心にするならば、この取り組みでよいと思うが、やはりこどもたちの体づくりという意味では、競技スポーツよりも生涯スポーツにつながるレクスポーツや生涯学習活動を生かして、スポーツ少年団に限定しないほうがよいと思う。スポーツ少年団だけを書いている意図を教えてほしい。

事務局

参考資料1の「わからない」が多いところについて、アンケートは年齢に応じて1、2、3は振り分けをしているが、4、5は全員に聞いている。知ってもらうことは大事なので、本来「わからない」を減らすことも必要である。しかし、「わからない」が半数以上あるので、成果指標としては正確に追えないので、「わからない」を除いている。ただし、委員のご指摘のとおりなので「わからない」も追っていく。

スポーツ活動振興事業だが、取り組み内容は議会に報告している事務事業の区分でいっている。事業としてはたくさん行っているが、こどもに特化すると、これだけということになる。事務事業のレベルではこれだけということになる。

会長

その他はいかがか。

では、4章～6章は以上とする。

・計画策定のスケジュールについて

◇資料2説明（こども未来課主幹説明）

◇次回候補日について、第一候補として1月30日、第二候補として2月6日を考えている。

会長

パブリックコメントの状況如何で、両日押さえていただきたいとのことである。では、その他の事項に移る。

3. その他

会長

委員から何かあるか。

※※委員

配付資料が届くのがぎりぎりできちんと読めなかった。あと1週間早くいただけないか。

事務局

1月19日がパブリックコメントの締め切りであり、1週間前にはお送りしたいと考えているが、それ以上はやめるのは難しい。

※※委員

しっかり読むには1週間では足りないので、2月6日に変えていただきたい。

事務局 現状、郵送で資料を送っているのでタイムラグがある。例えば、紙ベースでも送るが、メールでもデータを送るといのはいかが。

※※委員 あと1週間早めていただけるなら、メールでもよい。

事務局 今回はかなり多くの資料があり、時間がなく申し訳なかった。次回はパブリックコメントの結果であり、どう反映させるか、今回からどう変わったかということがメインである。見ていただく資料は少ないので、なるべく早くメールで送付するが、今回のようにはならないと考えている。

会長 メールでも先に資料をお送りし、早めにお送りするということであるので、よろしくお願いしたい。

では、マイクを事務局に返させていただきます。

以上